

西日本豪雨被害の影響

松山から鮮度抜群の鮮魚を全国の皆様にお届けする嶋矢水産です。ご存知の方も多いと思いますが、西日本では今年の夏、歴史的な水害によって多くの方々が被災してしまいました。今回の災害により、多大な被災を受けた皆様には心よりお悔やみ申し上げます。

瀬戸内海をはじめ、宇和海や高知沖といった多くの産地でも甚大な被害を受けた所が多く、養殖業者だけでなく、一次産業に携わるメーカーでも思うように生産が出来なくなっています。また、災害前、宇和海では非常に毒性の強いカレニア・ミキモトイという

赤潮が発生し、相場にも大きな影響がありました。

災害や赤潮の発生もあり、例年になく、厳しい状況です。本当に多くの皆様に迷惑をお掛けしている事を深くお詫び申し上げます。



冷凍車えびをお試し下さい

今年は冷凍の車海老を取り扱う予定です。車海老はご存知のように、細長く、円筒状で脚は太く短い点が特徴の一つです。一般的には成体では約15cm程の大きさ位ですが、大きくなると30cm程に成長します。また、メスの方が魚体は大きくようです。

弊社では宮崎県の●●水産の養殖車海老を取り扱っています。最近では養殖技術も進み、養殖車海老の品質も進化し、天然物にも劣らない状態になっています。

嶋矢水産では人気の高い中間サイズの魚体を選別し、鮮度の良い活の状態のものを急速冷凍し、出荷して頂いております。

価格は出来るだけ安価でお届けでき、ぜひ一度お試しください。お試しいただければと思っています。気軽にお問合せ下さい。



鯛の歴史と鯛の七つ道具

瀬戸内海で水揚げされる代表的な魚の一つに「真鯛」があります。養殖真鯛の産地としてだけでなく、旬の時期には良質な「天然真鯛」も水揚げされており、古から真鯛の産地として有名だったことから推測されます。

真鯛と人との関わりは、古墳から出土される土器からも伺い知ることが出来、縄文時代から食べられていた様です。平安時代には延喜式にも、天皇に献上されていたとも言われています。江戸時代になると鯛網も開発され、この時代になると更に漁が盛んになりました。徳川家康の好物の一つに「鯛の天婦羅」が挙げられた程でもありました。

ちなみに、鯛の七つ道具というのをご存知でしょうか。来月からはその七つ道具の事をご紹介してみたいと思います。



イシガキ蝶と気候の変化

自宅の庭の前にイシガキチョウが飛んできました。このイシガキチョウですが、近年の温暖化の影響もあり、生息地域の北限が高くなっているようです。本来は紀伊半島以南の四国や九州地方の渓谷や溪流に住み、生息している蝶とのことです。和名通り、石垣模様の羽トヒラヒラと宙を舞う紙切れの飛ぶ近くの野原や山林に居る蝶と比べると、とても珍しい柄だけでなく、飛び方も特徴的な為、しばらくジッと見てしまいました。

数年前はマスコミなどでも異常気象というワードを耳にしたのですが、最近では異常気象ではなく、この気候が「例年の気候」というようになってきた感じも受けます。普段の気候の変化が変わっていくに連れて私たちの常識も変化し続けていくのですね。

